

### ■11/6 高知県の企業による高知高専生のための「県内企業研究会」を開催

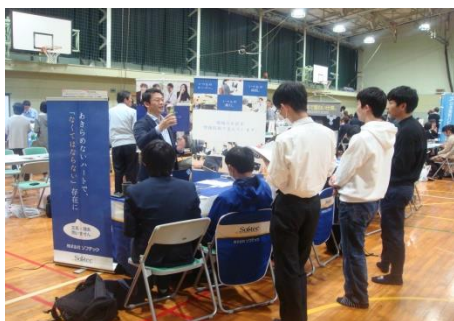
#### ●300人以上の学生が企業の説明に耳を傾ける

幅広い業種から44社（内、会員22社）が、また300人以上の学生が参加して「県内企業研究会」を開催しました。より多くの高専生に県内企業への関心を高めてもらいたい、という当初の思いが十分に達成できた研究会となりました。従来の機械系学生中心の研究会に比べ学生の面談者数は3倍以上（会員企業15社の対比）となり、この数字からも今回の実施効果の程が窺われます。

今回の取組みは初めての試みであり金もなし。反省すべき点は多々ありますが、参加企業が机を持ちよるなど、皆さまのご理解とご協力のもと、手作りの「県内企業研究会」を開催することができました。関係機関、また参加企業の皆さまに感謝申し上げます。

業種別の面談者数			
機械・金属系（16社）	14人	製紙・材料・医薬系（9社）	22人
電気・情報系（5社）	25人	土木・建設・建築系（12社）	16人

注）1社当たりの面談者数の平均は18人



#### ■県内企業研究会 事後アンケート調査結果（次ページに感想・意見）

1. 総合満足度は100点満点で何点ぐらいですか？	60点～82点～100点
2. 来年度も開催を希望されますか？	全社が希望する
3. 長机持参は大変でしたか？	全社が大変だった
4. 今回は無料でしたが、事務費用として多少の参加費を頂戴することについては？	全社がOK
※OKの場合、妥当な金額は？ ⇒ 1000円：20社    2000円：14社    3000円：7社	
5. 本年12/8開催の「進路研究セミナーに参加予定ですか？ ※12/8セミナー：全国の企業（県内企業含む）が参加して行われるセミナー	20社が参加予定
6. 本年12/8に開催の「進路研究セミナーに参加予定の企業様にお伺いします。 →今回の県内企業研究会を事前に知っていれば12/8のセミナーに参加しませんでしたか？	19社が両方に参加すると回答

## ■事後アンケートからご感想・ご意見等について

○今回、初めての試みでご準備等大変であったと存じます。運営いただき、ありがとうございました。就職活動を前提とする4年生以下の学年の学生にも知ってもらえる機会を提供いただけたことに感謝申し上げます。

学校の協力なくしては学生がご参加いただけないので、随分周知活動をしてくださったのではないかと、苦勞を感じました。

○高知だけの企業が先行しての研究会は大賛成です。学生とふれあう機会ができて、大満足です。恒例になれば良いのですが。

○県外就職希望者が大半でしたが、いつかは高知に戻りたいと考えている学生も一定数おりました。短期、長期両方の点から県内企業を知ってもらう意義ある研究会だったと思います。

○学校ともよく調整をされていて、来場者数から学生への周知の苦勞が窺えました。今回参加させていただきましてことを感謝しております。

県外企業が多く参加するイベント（特に高専の学内説明会）では、多くの学生と接触することが難しいため、今回は県内企業を学生に知ってもらう機会として有意義なイベントだと感じました。参加企業間でも他のイベントの時に比べ、一体感があったように感じます。

○これまでの合同企業説明会の類と比較して、まず学生の熱量・主体性・勢いは比べ物にならないほど群を抜いて素晴らしかった。達成感のある県内企業研究会となりました。

○学生の真剣さが伝わってくる面談でした。弊社も社内事情を説明するのに慎重に対応することができ、有意義な時間でした。

○今回は全企業に求人条件の提示が禁止されていたので、企業側からは純粋に企業の特徴・社風・仕事のやりがいや考え方などを説明することができました。

参加学生にとって、まさしく「県内企業研究」となるいい企画でした。是非、続けていただければ、と思います。

◇学生に高知県内企業の存在をアピールする良い機会であり、継続開催が望まれます。また、高専生の多くが県外企業に就職し、高知県人口減少の一因とすれば行政等を巻き込んだ発展形が必要とも感じました。

◇ブースの設置については長机1台だけでは手狭感がありました。プラス50cm角ぐらいの小テーブルがあれば、スペース的にも問題なく収まり、企業PRのアイテムが置けるなど利便性が高まると思います。

◇机の運び出しはさすがに大変でした。レンタル代、設置工賃程度は各企業に少しずつ出して頂く方が良くと思います。

● 県職業能力開発協会と強ちに連携して開催

小学生の子供たちに、ものづくりの喜びと大切さを体験してもらうことを目的として、北実行委員長を中心に企画・運営し、高知県立地域職業訓練センターにおいて実施しました。

また、開催にあたっては県職業能力開発協会様に全面的にご支援頂くとともに、今回も工業技術センター、高知工業高校の生徒さんにもご支援を頂いて実施することができました。感謝申し上げます。

当日は午前の部（21人）と午後の部（23人）、合わせて44人の小学生が参加。ものづくりの楽しさを体感してもらうことができました。



北実行委員長による事前説明



うさぎ・ぱんだ・ハートの製作



ブレスレットの製作



ペン立ての製作

● こども鑄物教室を終えて（アンケート結果）

1. ものづくり体験は楽しかったですか。	全員（44人）が楽しかった！	
2. 体験した内容は難しかったですか。	はい：17人（39%）	いいえ：27人（61%）
3. ものづくりの仕事について興味を持ちましたか。	はい：43人（98%）	無回答1人
4. 今回の体験の満足度	良い：43人（98%）	やや良い：1人（2%）

● 満足度の理由・思ったこと・感じたこと から

- ・安全に作ることを教えていただいて、安心して楽しめました。
- ・色々な工夫をした。3回は失敗したけど、うまくいった。
- ・作ることは大変だったけど、作れて楽しかったから満足しました。
- ・お兄さんたちがやさしく教えてくださったので、楽しくできました。
- ・大人の人たちはこんなに難しいものを作っているんだなと思いました。



# ■11/15-17 受注拡大委員会 第7回ものづくり総合技術展に出展

受注拡大委員会では関西機械要素技術展（10月）に出展した「木毛製造機」及び委員会16社のパネルを展示して県民のみならずアピールしました。特に、「木毛製造機」はマスコミには注目され、本装置が“動くまで追っかける”という言葉が取材スタッフからありました。

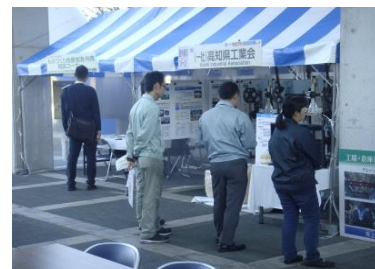
今回のものづくり展には過去最多の138社（内、会員企業31社）が出展。来場者数も最多の25,663人となりましたが、なんとといっても小中学生や高校生であふれた、活気のある展示会でした。

## 児童・生徒の参加者数の推移（人）

	H28	H29	H30
小学生	191	448	464
中学生		180	207
高校生	1058	1811	2239
高専生（2年）			170



学生であふれる広場！



# ■11/17 高知県・タイ政府 & 高知県工業会・タイサブコン 覚書を締結

県とタイ政府、県工業会と同国の下請け業促進協会の2組がそれぞれ、工業分野で企業活動をサポートし合うことを確認する覚書を結んだ。官と官、民と民同士が相互に連携し、経済交流の拡大を目指す。

海外展開を図る県内企業にとって同国に対するニーズは高く、県や県産業振興センターが商談会や展示会出展の支援を行ってきた。同国工業省も日本から投資を呼び込もうと、各都道府県と協力覚書を締結しており、本県が19件目。

具体的には、定期的に情報交換し、企業同士のマッチングを支援して事業機会の創出を図っていく。

締結式には、タイ工業省や県工業会の幹部らが出席。尾崎知事は「官民ともに新たな絆ができた。タイ企業とのマッチングが進み、関係が深まることをうれしく思う」とあいさつ。

取材に対し、タイの下請け業促進協会の担当者は、「覚書はあくまできっかけ。技術協力からビジネス拡大へと、長期的に交流を拡大させたい」と話していた。

2018/11/18 高知新聞より掲載



## ■締結式 写真左から

- ・タイ工業省 産業振興局 コブチャイ局長
- ・尾崎正直 高知県知事
- ・タイサブコン センソムロソ副会長
- ・山崎道生 高知県工業会会長

## 12月の行事予定

2	日	サッカー大会
6	木	生産性向上支援研修「品質管理実践」
13	木	高知高専 業種研究会
18	火	高知高専 バスツアー企業見学

## ●賀詞交歓会のお知らせ

日時：2019年1月24日(木) 17:00～  
場所：三翠園

**編集後記：**高専の企業研究会を実施については学校側との主催、共催等々のやりとりが始まり、情産協会・製紙工業会・建設業協会の3団体との協力依頼の取付けなど、この時点で40数社参加の目処が立ったことでした。頭を悩ましたのは体育館の電気容量。パソコン1A、プロジェクター2Aで計算。ブレーカーが落ちないようにパソコン辞退をお願いした企業もありました。準備の目処がついたのは1週間ぐらい前。集合時間など皆さまにご迷惑をかけましたが、全社が来年も是非！にという言葉を救われる思いです。（にしうち）